

◆ ひょうご青少年憲章 ◆

1 自分を大切に、自らを律し、行いに責任をもって生きていこう

2 ふれあいを深め、正義感をもち、社会を担う一人として生きていこう

3 人の痛みや喜びを感じあえる心をもって生きていこう

4 多様な人々の存在を受け入れ、ともに支えあって生きていこう

5 自然を愛し、生命を尊び、みえない世界にも襟を正して生きていこう

6 先人に学び、明日に夢をえがき、勇気をもって未来を拓いていこう

出会いGO!
HYOGO!

ひょうご出会いサポートセンターを
ご活用ください!

～兵庫県があなたの出会いをお手伝い～

あいサポ会員

はばタン会員

イベントで気軽に婚活を始めたい

お見合いでじっくり考えたい

ひょうご出会いサポートセンター TEL:078-891-7415 FAX:078-891-6829

青少年
ひょうご

No.95

2017 年 10 月 発行

編集・発行
公益財団法人 兵庫県青少年本部

〒650-0011 神戸市中央区下山手通 4-16-3
兵庫県民会館 8 階

TEL.078-891-7410 FAX.078-891-7418
http://www.seishonen.or.jp/

兵庫県立美術館

神戸市中央区 TEL.078-262-0901

《特別展》
大エルミタージュ美術館展
オールドマスター
西洋絵画の巨匠たち

10 月 3 日(火)～
1 月 14 日(日)

兵庫県立人と自然の博物館

三田市 TEL.079-559-2002

《開館 25 周年記念展示》
ひとはく研究員のいちおし
25 選(秋の部)

10 月 7 日(土)～
1 月 8 日(月・祝)

兵庫県立考古博物館

播磨町 TEL.079-437-5589

《特別展》
青銅の鐸と武器
―弥生時代の交流―

10 月 7 日(土)～
11 月 26 日(日)

兵庫県立歴史博物館

姫路市 TEL.079-288-9011

《特別展》
ひょうごと秀吉
―近年の新紹介資料を交えて―

10 月 7 日(土)～
11 月 26 日(日)

兵庫陶芸美術館

篠山市 TEL.079-597-3961

《特別展》
今右衛門の色鍋島
―煌めく人間国宝の技と美、
そのルーツ

9 月 9 日(土)～
11 月 26 日(日)

神戸市立博物館

神戸市中央区 TEL.078-391-0035

《特別展》
ボストン美術館の至宝展
東西の名品、珠玉のコレクション

10 月 28 日(土)～
2 月 4 日(日)

※平成 30 年 2 月 5 日(月)～リニューアル
工事のため休館(平成 31 年 11 月まで予定)

兵庫県立舞子公園

神戸市垂水区 TEL.078-785-5090

《舞子海上プロムナード他》
神戸舞子クリスマス 2017

11 月 25 日(土)～
12 月 25 日(月)

県立淡路夢舞台温室
奇跡の星の植物館

淡路市 TEL.0799-74-1200

《特別展》
あわじガーデンルネサンス 2017

9 月 23 日(土)～
11 月 12 日(日)

※特別展期間中は特別料金になります。

孫文記念館(移情閣)

神戸市垂水区 TEL.078-783-7172

《特別展》
神戸開港 150 年と神戸華僑展

11 月 1 日(水)～
11 月 30 日(木)

阪神・淡路大震災記念
人と防災未来センター

神戸市中央区 TEL.078-262-5050

《企画展》
減災グッズ展 vol.6
「住まいの地震災害への備え方」

10 月 17 日(火)～
1 月 28 日(日)

兵庫県庁 2 号館
B1 食堂「のじぎく」

神戸市中央区 TEL.078-362-2509

割引
コーヒー 10%割引
(但し 11:00～13:00 除)

兵庫県立円山川公苑
(美術館)

豊岡市 TEL.0796-28-3085

《企画展》
2017 コレクション展
―但馬ゆかりの作家・所蔵品から―

11 月 18 日(土)～
1 月 28 日(日)

※大人(70 歳未満) 本人のみ割引

編集後記

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋。皆様はどのように秋を過ごしていますか。私は健康増進と体型維持のため、スポーツの秋にしたいと意気込んでいます。さて、今回は特集記事をはじめ、様々な子どもたちの体験活動を掲載しています。次代を担う子どもたちには、こういった活動に是非参加していただき、貴重な経験としてほしいですね。(W)



地方青少年本部

阪神南青少年本部 06-6481-4634

阪神北青少年本部 0797-83-3138

東播磨青少年本部 079-421-9105

北播磨青少年本部 0795-42-9352

中播磨青少年本部 079-281-9198

西播磨青少年本部 0791-58-2131

但馬青少年本部 0796-26-3648

丹波青少年本部 0795-72-5168

淡路青少年本部 0799-26-2048

神戸事業部 078-382-8249

CONTENTS

特集 ……………P2～P3

青少年の体験活動を通じた
ふるさと意識の醸成

・「ふるさとづくり青年隊」事業
・「ひょうごっ子・ふるさと塾」事業

本部事業報告 ……………P4

・こころ豊かな人づくり 500 人委員
育成事業
・人とつながるオフラインキャンプ

青少年施設だより ……………P5

・県立こどもの館 ・県立神出学園
・県立山の学校

地方青少年本部だより …… P6、7

・親子ふれあい いきいき わくわく 野球観戦
(阪神南)
・たんば子ども塾(丹波)
・平成 29 年度親子ドラゴンボート体験教室
(西播磨)
・第 38 回未来をひらく少年会議(東播磨)

青少年活動の現場から ……………P7

・兵庫県子ども会連合会

賛助会員特典施設の紹介など……………P8

目的

「地元青年」と「他地域青年」で構成する『ふるさとづくり青年隊』が、地域の活性化や課題解決に取り組む団体等と連携して、**若者のふるさとや地域貢献への関心を高める取り組み**を通じて、**地域づくりの核となる人材を育成**していくことを目的としています。



あわじで農業体験♪



日本史学びツーリズムを実施するため知識を深める



忍者学校のお手伝い



参加型イベントを開催して須磨区の活性化を図る！

事業実施団体

- ①NPO法人あわじFANクラブ（洲本市）
- ②猪名寺自治会（尼崎市）
- ③TEAMスマプラ！（須磨区）
- ④浅野陣屋・札座保存ネットワーク（相生市）
- ⑤OGINOランドマーク（伊丹市）
- ⑥そうめん都構想（たつの市）
- ⑦上郡校区まちづくり推進委員会（上郡町）
- ⑧Rokken Innovation（長田区）
- ⑨鷹巣活性化委員会（宍粟市）



山の中の放棄地を公園にする！

第1回

ふるさとづくり青年隊交流会 7/1 開催

青年隊が元気いっぱい兵庫県民会館に集結！

活動を開始しての感想、各地域の課題やこれからの目標を発表し合いました。グループワークでは選定委員から今後の活動に向けてのアドバイス等を受けました。普段会うことがない青年隊同士の交流は良い刺激になったようです。



助成趣旨

青少年が**世代間や地域間の交流を深める**とともに、**ふるさとを大切にすることを養い**、ふるさと意識の醸成を図るため、青少年団体がノウハウを活かして企画・実施する**“身近な地域での社会体験”**や**“豊かな自然に触れる体験”**など、多様な体験事業に対して助成しています。

助成対象団体・事業数

兵庫県青少年団体連絡協議会構成団体及び
その地域団体 21団体・37事業

キッズパワー！
サマーキャンプ2017

生まれ育った地元のキャンプ場！
食材獲得合戦（セリ）でゲットした食材で、さあ夕食作り。何を作ろうかな？

様々な体験や多世代交流等を通じて“ふるさとを大切に”を養い、子どもだけでなく大人も共にふるさとへの愛着が一層深まることを期待しています。

子どもたちの豊かな心は地域の元気に繋がっていくことでしょう！

私のまちのたからもの
～夕涼み会～

地域に伝わる「近松音頭」、さあみんなで踊りましょう。大切なたからものです。

KOBE ファミリー
チャレンジキャンプ2017

神戸にある豊かな自然を満喫。
親子で楽しいキャンプ。
学生リーダー達も大活躍です。

私のまちの宝探し
～ザリガニ釣り～

ザリガニみ～つけた！タイミングを見計らって…ザリガニの根比べ。飼育の方法も学びました。

職業体験事業
「ワクワクワーク@多可」

いろいろな職業に挑戦です。
子どもたちには夢いっぱいの未来が開かれています。

野外活動等を通して
「ふるさとの良さ」を
再発見しよう

チームで力をあわせてゲームに挑戦・夕食作り。秋には大学祭（神戸女子大学・武庫川女子大学）で地元のことを学ぶ「ふるさと塾」を開講します。

私のまちの宝もの伝えるもの
～姫路城おもてなし～

我がまちの誇り「姫路城」で外国人観光客との交流。「ハロー」と元気よくあいさつ。
和気あいあい会話が弾みました。

「ふるさと」をもっと
知ろう！楽しもう！
～黒枝豆収穫体験～

育てる苦勞を知り、収穫する楽しさを体験！収穫した野菜を使って食事作り。自然の恵みに感謝！

こころ豊かな人づくり 500 人委員会 第 15 期がスタート

平成元年に始まった「こころ豊かな人づくり 500 人委員会」が第 15 期 286 名の委員を迎えてスタートし、台風一過の晴れ間も覗く 8 月 8 日（火）に、兵庫県公館において開講式を開催しました。金澤副知事に開会のごあいさつをいただき、200 名を超える参加者で盛大に開催することができました。

開講式に引き続き、第 1 回全県セミナーを開催し、NHK 大阪放送局の北郷三穂子アナウンサーに「真っ白な子どもを育てる大人の責任～仕事と子育ての両立で見えてきたこと～」と題して記念講演をしていただきました。今までの取材経験に基づく貴重なお話や、「人の話を聞く」ことについて具体例を交えてご教示いただきました。スタートアップセミナーでは、兵庫県青少年団体連絡協議会の清水勲夫副会長に「500 人委員に期待すること」と題して活動の方向性などをご紹介いただきました。

第 15 期は子育てや体験活動といった地域ごとのテーマに合わせた講座となっており、座学だけでなくフィールドワークや教養講座も実施します。12 月 28 日（木）まで随時募集を受け付けていますので、各地方青少年本部までお申し込みください。



人とつながる オフラインキャンプ



8 月 16 日～20 日の 4 泊 5 日で、「人とつながる オフラインキャンプ 2017」を実施しました。

昨年に引き続き実施したこのキャンプは、県立いしま自然体験センターを会場に、ネットをやめられない子どもたちからスマホやゲームを預かり、海や森で自然体験を行いながら日常生活をふりかえり、これまでのネット利用を見直すきっかけにしてもらうこと、ネット依存の実態を把握して広く啓発することを目的として、今年度は 13 名の青少年が参加しました。

参加者には、炊事やカヌーなどの野外体験を通じてリアル社会の楽しさを実感してもらい、1 日 1 時間の「フリータイム」には「ネット部屋」でスマホ等を使うか、友達と遊んで過ごすかを考えてもらいました。また、メンターとの個人面談などで自身の考えや感じたことを共有する時間も設けました。

最終日の「おわりの会」では、参加者一人ひとりが考えたこれからの目標（ルール）を発表し、保護者にも目標実現のため協力をお願いしました。

今回のキャンプで、子どもたちがリアル社会でそれ

ぞれ抱えている様々な問題から、ネットが逃げ場になっているという実態がよりはっきり見えてきました。キャンプで参加者が感じたようなリアルな充実を日常生活でも実感できれば、ネットに逃げる必要もなくなります。そのためには周囲の大人の助けも必要です。

オフラインキャンプが各地に広がってほしいという思いを込めて、今後はこういった子どもたちの実態や、キャンプのノウハウの発信を進めていきたいと考えています。



日常生活をふりかえるグループワーク

県立 神出学園

不登校から自己実現に向けて

県立神出学園は、不登校等を経験した青少年たちがゆとりと潤いのある共同生活の中で、自己に対する理解を深め、自らの進路を見いだすことができるように支援していくため、平成 6 年 10 月に開設された施設です。学園生は多彩な体験プログラム等を通して自己理解を深めて社会性を培い、生きる力や自主性、創造性を身につけ、自己実現を図るために日々の活動に取り組んでいます。

特に当学園では、命の大切さを実感し、動物と共生する心を養うためウサギやヒツジ、山羊など様々な動物を飼っています。昨春仲間入りした犬の「アルフ」とポニーの「サクラ」もすっかり学園の一員として優雅に暮らしています。



先日、ウサギの「マドンナ」に 3 羽の子供が生まれました。今はみんなで静かに成長を見守っています。神出の一員としてデビューする日も近いと思います。

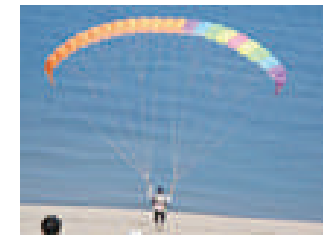
7 月には夏祭りを実施しました。8 月には 4 回目となる東北ふれあい交流事業で宮城県を訪問しました。ともに学園生自らが企画・演出を行い、参加された現地の方々は大変満足されていました。また、学園生以外でも日帰りで参加できる「1 日交流体験」を金曜日に、今年度は 27 回実施します。参加を希望される方は、神出学園までお問い合わせください。

問い合わせ先 県立神出学園 TEL 078-965-1122

県立 山の学校

元気・やる気・自信・笑顔づくり

県立山の学校は、豊かな自然の中でさまざまな体験活動と寮での共同生活を通して、よりよい人間関係を育みながら、たくましく生きる力を培い、進路実現に向けて「元気・やる気・自信・笑顔」づくりを支援している修学期間 1 年の全寮制学校です。15 歳から 20 歳までの男子が在籍していますが、近年では学校生活に馴染めなかったり、不登校になってしまった生徒も入学しています。



チェーンソーや刈り払い機を使った環境整備や氷ノ山登山、千種川沿い縦走等の野外活動を行っているほか、森林

環境や林業の基礎を学ぶ座学なども実施しています。今年度は熊本の被災地へ赴き体験活動をするともに、「地域社会との交流」を目指したボランティア活動を継続実践しています。

また「チャレンジ体験」は年 6 回開催し、概ね 25 歳までの県内在住の男女を対象に、本科生のカリキュラムに準じて体験活動ができるよう参加者を募集しています。希望者は、山の学校までお問い合わせください。

問い合わせ先 県立山の学校 TEL 0790-62-8088



県立 こどもの館

課題を抱えた子どもへの支援と高校生の活躍

県立こどもの館では、課題を抱えた子どもたちの健全な育成を支援するため、様々な事業を展開します。

11 月には、「NPO 法人はりまキッズランド」の協力を得て「笑顔いっぱい!! コメディ・クラウン・サーカス」を実施し、プロのクラウン（道化師・ピエロ）による生の舞台に触れる機会を親子に提供します。高校生が司会を務めるほか、児童養護施設の子どもたちを招待し、心豊かな体験の機会を提供します。



12 月 23 日（土・祝）には、こどもの館を中心に活躍している県下各地の高校生たちが一堂に会する「イブイブ交流会」を実施します。高校生たちが、来館者に向けてさまざまなブース展開やステージ発表を行うとともに、自分たちの日ごろの成果や思いを参加者同士で伝え合う「交流会」、「しゃべり場」も実施します。来館者や他校生とのふれあいを通じて、高校生等が自分と地域に誇りを感じ、地域の明日を担う力を高めます。

問い合わせ先 県立こどもの館 TEL 079-267-1153



阪神南
青少年本部

親子ふれあい いきいき わくわく 野球観戦

「親子ふれあい いきいき わくわく 野球観戦」は、“子どもたちの自然な笑顔、それを温かく見守る家族の笑顔をいつも大切にしてほしい”との願いを込めて、平成13年から取り組んできました。

17回目となる今年も、(株)阪神タイガース、こころ豊かな人づくり500人委員会阪神南OB会、阪神ブロック子ども会連絡協議会の皆様をはじめ、多くの方のご支援・ご協力のもと、6月30日(金)に阪神甲子園球場で開催しました。

今年は阪神南青少年本部の設立40周年ということもあり、児童養護施設等の子どもたちを招待して過去最大の規模で実施しました。

オーロラビジョンに参加者が映しだされると、OB会の方々が作製した「はばタン」のイラスト入りの啓発うちわを振って必死にアピールしていたのが印象的でした。ユニフォームやメ



ガホンを持って、周りの大人に負けないくらい一生懸命に応援する子どもたちや、親子で楽しそうに応援している姿を見て私たちも自然と笑顔になり、心温まる時間を過ごすことができました。

◇阪神南青少年本部 地域活動コーディネーター 小野 有希子

丹波
青少年本部

たんば 子ども塾



丹波青少年本部では7月から8月にかけて、丹波地域(篠山市・丹波市)の6つの県立高校を小学生(4~6年生)が訪ね、高校生が先生となってさまざまな体験や活動を体験する「たんば子ども塾」を開催しました。

子どもたちは高校生のお兄さん、お姉さんにアドバイスを受けながら、各高校で、田んぼ(ビオトープ)に入り生きものを採取・観察する自然体験、パソコンを使ったプログラミング、工作教室、字を書く練習・書道パフォーマンス見学、化学実験、丹波黒大豆を使ったお菓子作りなど、特色を生かした講座に目を輝かせて取り組んでいました。



普段は体験できないバラエティ豊かな講座に参加し、「家の周りでも生きものを調べてみたい」「書道パフォーマンスが凄かった!」といった声が聞かれ、興味を持ったり新たな発見をしたりと楽しい夏休みの思い出になったようです。

◇丹波青少年本部
地域活動コーディネーター 河津 知佳



参加者からは「子どもと一緒に楽しみながら普段できない体験をさせることができた」「子どもたちに力が付いてきていることを実感できた」「日本一のチームと大きな海で一緒に漕げるのが魅力的だ」といった感想をいただいています。

◇西播磨青少年本部
地域活動コーディネーター 高橋 弘樹

西播磨
青少年本部

平成29年度 親子ドラゴンボート体験教室



8月19日(土)、3歳から11歳までの子どもと保護者を対象としたドラゴンボート体験乗船を、相生湾及び相生コスモマリーナで実施しました。参加者は国内屈指の強豪チーム「磯風漕友会(いそかぜそうゆうかい)」[SUPER DOLPHIN(スーパードルフィン)]の青年たちの楽しい指導のもと、夏雲を映して輝く穏やかな海に漕ぎ出し、親子や仲間を力合わせて遊覧やレース等を体験しました。

今回も両チームのアシストのおかげで、暑さと西播磨の自然を楽しみながら協調性の重要性を学び、親子のふれあい・絆を深めた思い出深い一日になりました。

東播磨
青少年本部

第38回 未来をひらく少年会議

平成29年8月27日(日)に兵庫大学にて、今年で38回目となる「未来をひらく少年会議」を東播磨と北播磨の青少年本部が合同で開催しました。「災害に備え、家族・地域・わたしたちにできること」をテーマに東・北播磨地域の中高校生約122人が参加しました。

兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科の宮本匠専任講師に、「災害が



起こったら…実際の行動を考える」と題してご講演いただきました。その後、NPO法人生涯学習サポート兵庫の菅野将志氏が全体の進行役を、学生リーダーがファシリテーターを務め、参加生徒たちとともに「未来の助け合い社会のために、いまできること」をテーマにワークショップを開催し、最後に各班が災害発生後、支援を求める文章をツイッター形式で発表しました。生徒たちは、この会議で未来の助け合い社会のために地域外のさまざまな人たちとつながりをつくることの大切さを実感し、そのための日常からの行動について考える一日を過ごせたようです。

◇東播磨青少年本部 青少年指導専門員 中家 千恵

青少年活動の現場から

一般社団法人 兵庫県子ども会連合会

子ども会は、異年齢の子どもたちが遊びを中心とした体験活動を通して、社会性、協調性、ふるさとを愛する心を育む青少年団体です。昭和28年に県下、市・町の子どもの会連合体として組織され、現在、県下各地に3,245単位、149,600人の会員が独自の活動を進めています。

源流は、明治以前に全国各地に存在した、地域の年中行事を子どもだけで計画、実施した“子ども組”にあるといわれています。その集団は、「14~15歳のリーダーによってまとめられ、大人は干渉せず、社会修練の機会としてこれを見守る」という決まりがあり、子どもたちは地域社会のルールを守ることや生活に必要な知識、技能を身につけていったと考えられています。また、子ども会の大きなキーワードに「遊び」がありますが、本来「遊び」はゲームや大縄跳び、ドッジボールという活動のことではなく、「これおもしろそう、やってみてみたい」という発意によるものであると考えます。今、“子ども組”の思想を基盤として、子どもたちの自由な発想で「子どもの手による子ども会」を進めています。



青少年を暴力団から守ろう!!



〇(公財)暴力団追放兵庫県民センター 神戸暴力相談所 ヤクザゼロ
078-362-8930